

Design of Music

2 units 2nd-year(2nd semester)

Kazuto Miyazawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 現代社会には様々な目的に音楽が使われている。ここでは芸術的表現を目的としていない、言い換えれば日常の環境の中で多様な形で表れる音楽について、それらがなぜ必要なのか、またどのような要素が「心地よく」感じられるのかについて考察する。

Outline) 人間にとって「心地よい音楽」とはどのようなものなのかについて、様々な角度から考察する。

Fundamental Lecture) “芸術基礎理論演習”(1.0)、“History of the Contemporary Music”(0.7)

Relational Lecture) “デスク・トップ・ミュージック”(1.0)

Notice) 日常生活の中での音楽全般を授業の対象とするので、日頃から身の周りの音楽、音響に関心を持ってもらいたい。楽譜を書いたり、実際に演奏したりすることもある。

Goal) 音楽を構成する様々な要素を確実に理解し、使用目的に応じた音楽を作り出せる。

Schedule)

1. 音楽の様々な目的
2. ドラムの構造と演奏技法
3. ベースとギターの構造と演奏方法
4. 様々な鍵盤楽器
5. ストリングスとホーンセクション
6. ゲームの音楽
7. テレビやコマーシャルの音楽
8. 街で聞かれる様々な音楽
9. 音楽と映像によるマルチメディア作品の鑑賞(その1)
10. 教材 DVD における音楽の役割についての考察
11. 音楽とイメージの考察
12. ヒーリング音楽とは(なぜ音楽で癒されるのか)
13. 音楽と映像によるマルチメディア作品の鑑賞(その2)
14. 着メロ製作
15. 総括授業
16. 期末レポート

Evaluation Criteria) 講義時間中の小テスト、およびレポート

Re-evaluation) 行わない

Textbook) 教材については適宜プリントなどを配付する。その他参考書籍については講義の際に紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219079>

Contact)

⇒ Miyazawa (multimedia-A 204, +81-88-656-7163, miyazawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日昼休み(研究室に在室している時は、特別な場合を除いて対応可能))

Note)

- ◇ 今年度は開講する。なお今回の開講が最終回になる。
- ◇ 平成 20 年度以前入学生を対象とする、21 年度以降入学生は受講できない。